

4. 評価指標

指標名		現状	目標	指標の説明・目標設定の考え方
①	低出生体重児出生率 ^⑩	10.0% (全国平均9.4%) (令和3年)	9.4%以下 (令和11年)	早産予防対策の推進等により、低出生体重児の出生率を全国平均以下にする。
②	極低出生体重児出生率 ^⑪	1.03% (全国平均0.75%) (令和3年)	0.75%以下 (令和11年)	早産予防対策の推進等により、極低出生体重児の出生率を全国平均以下にする。
③	妊婦死亡数	2人 (令和3年)	0人 (令和11年)	周産期医療提供体制の充実等により、妊婦死亡数を0人にする。
④	周産期死亡率 ^⑫	3.8‰ (全国平均3.2‰) (令和3年)	3.2‰以下 (令和11年)	周産期医療提供体制の充実等により、周産期死亡率を全国平均以下にする。
⑤	新生児死亡率 ^⑬	1.0‰ (全国平均0.8‰) (令和3年)	0.8‰以下 (令和11年)	周産期医療提供体制の充実等により、新生児死亡率を全国平均以下にする。
⑥	小児在宅医療支援センターが連携した市町村数	31市町村 (令和4年)	45市町村 (令和11年)	小児在宅医療支援センターによる支援等により、県内全市町村における小児在宅医療体制の整備を目指す。
⑦	産後ケア事業の利用率	0.5% (全国平均6.1%) (令和3年)	6.1%以上 (令和11年)	妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の推進により、産後ケア事業の利用率を全国平均以上にする。
⑧	熊本県災害時小児周産期リエゾンの養成数	産婦人科医7人 小児科医13人 (令和5年4月)	産婦人科医8人 小児科医14人 (令和11年度)	災害時の急性期において、リエゾン2人が24時間体制で、最大3日間従事できる体制を整備する。

⑩ 低出生体重児出生率(%) = (低出生体重児出生数 / 年間出生数) × 100

⑪ 極低出生体重児出生率(%) = (極低出生体重児出生数 / 年間出生数) × 100

⑫ 周産期死亡率(出産千対) = (妊娠満22週以後の死産数 + 早期新生児死亡数) / (出生数 + 妊娠22週以後の死産数) × 1,000

⑬ 新生児死亡率(出生千対) = (年間新生児(生後28日未満)の死亡数) / 年間出生数 × 1,000

第8次熊本県保健医療計画 現状把握のための指標一覧
(周産期医療)

病期・医療機能	S P O	重点●	指標名	調査の詳細		データ													単位	評価指標として使用	
				調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと												
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨	天草			
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	O	●	新生児死亡率	人口動態調査	R3 (毎年)	0.8	1.0	12											‰	○	
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	O	●	周産期死亡率	人口動態調査	R3 (毎年)	3.2	3.8	14											‰	○	
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	O	●	妊産婦死亡数・死亡原因	人口動態調査	R3 (毎年)	21 (全国合計)	2	－											人	○	
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		災害時小児周産期リエゾン任命者数	熊本県医療政策課による集計	R5時点	－	20	－											人	○	

病期・医療機能	S P O	重点●	指標名	調査の詳細		データ												単位	評価指標として使用	
				調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨			天草
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		産科・産婦人科・婦人科医師数 (実際に分娩を取り扱う産科医及び産婦人科医の数)	医師・歯科医師・薬剤師統計	R4 (2年毎)	9,396	120	-	93 (熊本中央圏)	6 (有明・鹿本圏域)	93 (熊本中央圏)	8	3	4	6	人				
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		産科・産婦人科・婦人科医師数 (出産1000人あたり)	医師・歯科医師・薬剤師統計	R4 (2年毎)	10.6	6.8	-	6.8 (熊本中央圏)	6.7 (有明・鹿本圏域)	6.8 (熊本中央圏)	7.7	10.0	4.1	7.0	人				
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		分娩を取扱う医師数 (一般診療所の分娩取扱施設に勤務する産科医及び産婦人科医の数)	産婦人科医会調査	R4 (毎年)	3,443	38	-	24 (熊本中央圏)	4 (有明・鹿本圏域)	24 (熊本中央圏)	5	1	3	1	人				
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		分娩を取扱う医師数 (病院の分娩取扱施設に勤務する産科医及び産婦人科医の数)	産婦人科医会調査	R4 (毎年)	3,475	21	-	11 (熊本中央圏)	2 (有明・鹿本圏域)	11 (熊本中央圏)	3	2	1	2	人				

病期・医療機能	S P O	重点●	指標名	調査の詳細		データ													単位	評価指標として使用	
				調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと												
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨	天草			
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		日本周産期・新生児医学会専門医数 (新生児専門医の数)	専門医制度 (新生児)	R5 (随時)	1,095	8	-												人	
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		日本周産期・新生児医学会専門医数 (母体・胎児専門医の数)	専門医制度 (母体・胎児)	R5 (随時)	1,508	14	-												人	
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		助産師数 (常勤換算)	医療施設調査	R4 (3年毎)	-	136.1	-	53.5	27.2	11.1	0	24.6	0	8.5	2.0	4.2	5.0	人		
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		助産師数 (病院)	医療施設調査	R4 (3年毎)	-	296	-	236	0	6	5	0	6	10	9	10	14	人		

病期・医療機能	S P O	重点●	指標名	調査の詳細		データ													単位	評価指標として使用	
				調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと												
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨	天草			
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		助産師数 (就業)	衛生行政報告例	R4 (2年毎)	37,940	502	-												人	
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		アドバンス助産師数	アドバンス助産師 認証者名簿	R4 (随時)	8,327	72	-												人	
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		新生児集中ケア認定看護師数	認定看護師 分野別都道府県別登録者数一覧	R4 (随時)	425	2	-												人	
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		産科又は産婦人科病院数	医療施設調査	R4 (3年毎)	-	20	-	8	1	1	1	0	2	1	1	2	3	施設		

病期・医療機能	S P O	重点●	指標名	調査の詳細		データ													単位	評価指標として使用
				調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨	天草		
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		産科又は産婦人科一般診療所数	医療施設調査	R4 (3年毎)	-	48	-	25	2	4	2	5	0	4	1	1	1	施設	
地域周産期母子医療センター ＋総合周産期母子医療センター	S		分娩を取り扱う助産所数	衛生行政報告例	R4 (3年毎)	-	2	-											施設	
地域周産期母子医療センター ＋総合周産期母子医療センター	S		院内助産を行っている周産期母子医療センター数	周産期医療体制調査	R3 (3年毎)	-	1	-											施設	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		助産師外来を行っている周産期母子医療センター数	周産期医療体制調査	R3 (3年毎)	-	3	-											施設	

病期・医療機能	S P O	重点●	指標名	調査の詳細		データ													単位	評価指標として使用
				調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨	天草		
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		NICUを有する病院数	医療施設調査	R4 (3年毎)	-	3	-	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	施設	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		NICUを有する病院の病床数	医療施設調査	R4 (3年毎)	-	51	-	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	施設	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		GCUを有する病院数	医療施設調査	R4 (3年毎)	-	3	-	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	施設	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		GCUを有する病院の病床数	医療施設調査	R4 (3年毎)	-	77	-	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	病床数	

病期・医療機能	S P O	重点●	指標名	調査の詳細		データ													単位	評価指標として使用
				調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨	天草		
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		MFICUを有する病院数	医療施設調査	R4 (3年毎)	-	3	-	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	施設	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S		MFICUを有する病院の病床数	医療施設調査	R4 (3年毎)	-	21	-	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	病床数	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	S	●	業務継続計画策定医療機関数・策定割合	周産期医療体制調査	R4 (毎年)	-	4	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	施設	
正常分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	P	●	NICU入院時の退院支援を専任で行う者を配置している周産期母子医療センター数	周産期医療体制調査	R4 (毎年)	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	施設	

病期・医療機能	S P O	重点●	指標名	調査の詳細		データ													単位	評価指標として使用
				調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨	天草		
正常分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	P	●	分娩数 (病院の分娩数(帝王切開件数を含む。))	医療施設調査	R4 (3年毎)	-	208	-	107	11	12	6	16	6	11	10	11	18	件	
低リスク分娩	P		分娩数 (一般診療所の分娩数(帝王切開件数を含む。))	医療施設調査	R4 (3年毎)	-	1,473	-	701	68	130	42	139	43	130	43	76	101	件	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	P		産後訪問指導実施数	地域保健・健康増進事業報告	R4 (毎年)	-	11,970	-											件	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	P		周産期母子医療センターで取り扱う分娩数	周産期医療体制調査	R4 (毎年)	-	4,626	-											件	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	P		NICU入室児数	医療施設調査	R4 (3年毎)	-	680	-	680	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人	

病期・医療機能	S P O	重点 ●	指標名	調査の詳細		データ												単位	評価指標として使用	
				調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国 順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨			天草
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	P	●	NICU・GCU長期入院児数	周産期医療体制調査	R4 (毎年)	-	1	-											人	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	P	●	母体・新生児搬送数	周産期医療体制調査	R4 (毎年)	-	700	-											件	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	P	●	母体・新生児搬送・都道府県内搬送率	周産期医療体制調査	R4 (毎年)	-	99.8	-											件	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	P	●	母体搬送のうち受入困難事例の件数	周産期医療体制調査	R4 (毎年)	-	46	-											件	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	P	●	新生児搬送のうち受入困難事例の件数	周産期医療体制調査	R4 (毎年)	-	0	-											件	
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	P	●	母体・新生児搬送のうち受入困難事例の件数 (医療機関に受入の照会を行った回数が4回以上の件数)	救急搬送における医療機関の受入状況等 実態調査	R3 (毎年)	12.1	4	-											件	

病期・医療機能	S P O	重点 ●	指標名	調査の詳細		データ												単位	評価指標として使用	
				調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨			天草
地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	0	●	母体・新生児搬送のうち受入困難事例の件数 (現場滞在時間が30分以上の件数)	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査	R3 (毎年)	29.1	4	-											件	
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	0		低出生体重児出生率	人口動態調査	R3 (毎年)	9.4	10.0	-											%	○
低リスク分娩 地域周産期母子医療センター 総合周産期母子医療センター	0		極低出生体重児出生率	人口動態調査	R3 (毎年)	0.75	1.03	-											%	○
療養・療育支援	S		小児在宅医療支援センターが連携した市町村数	熊本県医療政策課による集計	R4時点	-	31	-	5	2	5	1	4	3	2	3	3	3	市町村	○
療養・療育支援	0		産後ケア事業の利用率	こども家庭庁母子保健課調査	R3 (毎年)	6.1	0.5	-											%	○